

社会連携等



千本桜植樹祭

地域に開かれ、地域と共に発展する大学を目指す取組の一環として、隣接する宜野湾市、西原町、中城村協賛のもと、一昨年、昨年に引き続き千本桜植樹祭を11月29日（土）、千原キャンパス内宜野湾口周辺において実施した。

開会にあたって、宮城副学長が各市町村からの参加者へ御礼の言葉を述べ、新里農学部教授から植え付けに関する説明の後、用意された200本の桜の苗木を安里宜野湾副市長、城間西原副町長、浜田中城村長をはじめ、各市町村の職員、地域住民、本学からは平啓介副学長を先頭に教職員等、合わせて約200名が協力し、手際よく植え付けた。植え付け終了後には大城副学長が閉会の挨拶を行い、参加者へ昼食と記念タオルを配付し解散となった。

千本桜植樹祭は地域と共有できる緑地環境を創出し、心の拠り所として花香る豊かな緑地空間の場を提供することを目的に平成18年から実施し、千原キャンパスの「センバル」に因んで3年間で千本の寒緋桜を植林するもので、今年はその最終年であった。



植樹風景